

2012年度総会資料

特定非営利活動法人
十日町市地域おこし実行委員会

議事進行

- 開会の挨拶
- 議長の選任

【説明事項】

- 全役員・会員の紹介(山本浩史)
- NPOの経緯と今後の目標(山本浩史)

【審議事項】

- 事業報告の承認(多田朋孔)
- 中間会計報告の承認(多田朋孔、今村安)
- 事業計画の承認(多田朋孔)
- 予算案の承認(多田朋孔)

【説明事項】

- 会員制度の仕組み(山本浩史)

全役員・会員の紹介

- 役員

- 代表理事：山本浩史
- 副代表理事：曾根一真
- 理事：曾根武
- 理事：三上泰
- 理事：濱坂都
- 理事：粕山旭太
- 理事：多田朋孔
- 監事：今村安

全役員・会員の紹介

- 会員
 - 正会員 15人
 - 賛助会員 27人
 - 学生会員 6人
 - 法人会員 0団体

NPOの経緯と今後の目標

我々は
何のために
何を目指しているのか？

特定非営利活動法人
十日町市地域おこし実行委員会

いりやま
IRIYAMA

いけたに
IKETANI

An aerial photograph of a rural landscape. A paved road curves through the scene, passing several ponds of varying sizes. In the background, there are dense green forests and rolling hills. A few buildings, including a larger one with a red roof and a smaller one with a blue roof, are visible. A white car is driving on the road. The text '今 池谷は . . .' is overlaid in the center of the image.

今 池谷は . . .

今 池谷は . . .

一、 去年

一人が

田んぼを

農業法人へ

二、 今の生産者たちも

あと何年田んぼが

できるか

わからない



村人の切実な願い

村人の切実な願い

一、二〜三年以内に
引き継ぎたい

二、引き継ぐ人たちが
農業の腕を磨いて
ほしい

三、引き継ぐ人に
もっと住んで
ほしい

A large, dark green evergreen tree stands as the centerpiece in a snowy village square. The ground is covered in a thick layer of white snow. In the background, traditional wooden buildings with snow-laden roofs are visible. Several people are gathered around the base of the tree, some wearing winter hats and coats. The overall atmosphere is quiet and serene.

願いをかなえるために

村人の願いをかなえるために

任意団体

村の存続と活性化
を正式に担う
ために

NPO化

地盤を固める



NPOに 何を期待している？

NPOに何を期待している？

一、農業の引継ぎ

二、移住者増加・
定着化

A scenic landscape featuring a valley with a small settlement, surrounded by lush green forests and hills. The sky is clear and blue. The text '今 NPOは?' is overlaid in the center.

今 NPOは？

今 NPOは？

- 一、設立半年で
試行錯誤中
- 二、組織づくり中
- 三、集落営農の
検討と難しさ
- 四、移住者の厳しい
住環境
- 五、移住者の募集と
現実



NPOは 何を目指している？

NPOは何を目指している？

短期、池谷・入山を

存続させる

中期、十日町を

元気にする

長期、日本の過疎の

成功モデルを

示し

日本や世界を
元気にする。



NPOが 今一番切実な課題

NPOが今一番切実な課題

村
の
存
続



どうしたら村を
存続できるか？

どうしたら村は存続できるか？

一、農業（田畑）
・
文化の引継ぎ

二、老人が安心して
村を離れず
暮らせる環境
（豪雪・車・若者
助け合い）

どうしたら農業・文化の 引継ぎができる？



どうしたら農業の引継ぎできる？

一、移住者の定住化
(農業の担い手)

二、移住者の増加

三、若者の
農業技術の習熟

四、引き継ぐ受け皿
(信頼できる組織)

どうしたら老人が 安心して暮らせる？



どうしたら安心して暮らせる？

- 一、雪おろし・豪雪の助け
- 二、普段のちよつとしたことの助け
- 三、自分の田んぼや畑がすぐそばにある
- 四、田畑を任せられる若者がいる
- 五、移住者も加わったコミュニティ



移住者にずっと
住んでもらうためには？

移住者にずっと住んでもらうためには？

一、プライバシーのある家

二、農業指導

三、新たな収入源の確保

四、移住者の受け入れ体制

A man with dark hair, wearing a grey and purple patterned long-sleeved shirt, is shown in profile, looking upwards and to the left. He is standing next to a large, tall stack of harvested rice stalks. His hands are resting on the stalks. The background is a clear blue sky and some green foliage in the distance.

どうすれば移住者は
増えるか？

どうしたら移住者は増える？

- 一、募集の広報強化・行政等の連携
- 二、住環境の整備
- 三、収入源の確保
- 四、移住者の成功例

A scenic landscape featuring a calm lake in the foreground, a dense forest of evergreen trees in the middle ground, and misty mountains in the background under a cloudy sky. The sun is visible in the lower right corner, creating a bright reflection on the water.

今 何をすべきか？

今 何をすべきか？

一、農業（田畑）の
引継ぎ

二、移住者の定着化

三、移住者の収入源の
確保

A serene winter scene featuring a snow-covered landscape. In the foreground, a small wooden cabin is partially buried in deep snow. To its right, another larger wooden house is visible, also surrounded by snow. The background is filled with a dense forest of evergreen trees, their branches heavily laden with snow. The sky is a pale, hazy blue, suggesting a clear but cold day. The overall atmosphere is peaceful and quiet.

いざ NPO!!

いざ NPO！！

一、 来年 池谷の畑を
引き継ぎます

二、 来年 家を一軒
建てます

三、 田んぼを任せて
もえるように
農業の腕を
上げます

四、 体制もしっかり
つくります



みなさまへ
切なるお願い

みなさまへの切なるお願い

- 一、作業の手伝い
(農作業、雪囲い、
雪堀、住居建設)
- 二、活動資金集めの
手伝い
(農産物販売、
体験イベント、
賛助会員、
寄付金集め、
助成金申請)



絶対に
集落を存続させる

2012年度4～9月半期事業報告

特定非営利活動法人
十日町市地域おこし実行委員会

農産物直販事業

- 山清水米直販
 - 23年度産米
 - 8810.4kg販売
 - 別途3,600kg(60俵)を農民連に出荷
 - 24年度産米
 - 5656.25kg予約注文受付済
 - 別途90俵を若米会の「限界集落支援プロジェクト(郷プロジェクト)」に出荷
 - 7/1 若米会「限界集落支援プロジェクト(郷プロジェクト)」に関して顔合わせ
 - 7/18 スカイプにて多田が若米会のミーティングに参加
 - » 若米会買取価格:25500円
 - » 農民連手数料(検査、集配等):1990円
 - » 実行委員会手取り:23510円
 - » 生産者への支払い額23000円
 - » 取引数量:90俵

農産物直販事業

- 出張販売

- 4/21～22 アースデー 坂下

- 売上:25,000円(山清水米25,000円)

- 10/7 食育フェア 坂下

- 売上:38,280円(山清水米3合17,600円、予約注文10,850円、その他野菜等9830円)

- 10/14 生誕地祭り(十日町市内中心市街地) 多田美紀

- 売上:8,100円(山清水米5合白米500円、予約注文7,600円)

- 10/13～14 GTFグリーンチャレンジデー 坂下

- 売上:86,250円(山清水米3合白米35,400円、5合玄米2,500円、その他野菜等48,350円)

体験交流事業

- 交流人口
 - 交流人数:345名、宿泊者335名、訪問者181名、かくら11名、民泊22名、メディア44名、合計593名
- イベント
 - 5/2～5/5山村へ行こう！山菜スペシャル
 - 参加者数19名
 - 6/8～10 第一回田んぼへ行こう！（田植え）
 - 参加者数17名（実行委員会8名・Fedex9名）、運営ボランティア4名
 - 6/22～23 山村へ行こう！木こりスペシャル
 - 参加者数6名
 - 8/10～12 山村へ行こう！夏の伝統芸能スペシャル
 - 参加者数10名
 - 9/1～2 ヨガツアー
 - 参加者数9名
 - 9/28～30 第二回田んぼへ行こう！（稲刈り）
 - 参加者数21名（実行委員会15名・Fedex6名）、運営ボランティア4名
 - 10/12～14 第三回田んぼへ行こう！（脱穀）
 - 参加者数 12名（実行委員会6名・Fedex6名）、運営ボランティア4名

移住促進事業

- インターン生受け入れ
 - 4/24 説明会
 - 5/14 山の暮らしインターン受け入れ調査票提出
 - 5/23 山の暮らしインターンヒアリング
 - 5/28 山の暮らしインターン受入地域として認定される
 - 7/9 市長の定例記者会見で市役所と協働で実施する『にいがたで「暮らす・働く」応援プロジェクト市町村モデル事業』の事が公表される
 - 7/10 市役所と協働で実施する『にいがたで「暮らす・働く」応援プロジェクト市町村モデル事業』の事が市報に掲載される
 - 8/7 にいがたで『暮らす・働く』応援プロジェクト市町村モデル事業について受け入れ候補地の結の里への説明
 - 8/10 にいがたで『暮らす・働く』応援プロジェクト市町村モデル事業について受け入れ候補地の赤倉集落への説明
 - 8/24 にいがたで『暮らす・働く』応援プロジェクト市町村モデル事業について受け入れ候補地の三ヶ村、あいぽーと仙田への説明
 - 8/10 インターン募集のための取材
 - 8/17 インターン候補者面接
 - 9/6 インターン候補者面接
 - 9/23 インターン候補者面接
 - 10/10 インターン候補者面接

移住促進事業

- 住居建設
 - 4/15 集合建設検討会
 - 5/31 柳工務所と打ち合わせ⇒見積額:1420万円/1棟2件
 - 復興基金書類作成、中越大震災復興基金1次書類審査を通過
 - 7/11 中越大震災復興基金2次プレゼンテーション審査を実施、結果は不採択

情報発信・農山漁村応援事業

- 視察受け入れ
 - 4/20 富士通総研 3名
 - 5/18 宮城県庁 4名
 - 5/28 佐渡市 2名
 - 6/26 妙高市 14名
 - 7/6 長野県小谷 8名
 - 7/7 オルタナ一行 5名
 - 7/14 村上市山北地区 25名
 - 8/16 東京農工大学の学生+松之山浦田地区の協力隊 4名
 - 8/22 新潟農業バイオ専門学校の学生で十日町出身の方 1名
 - 8/25 首都圏大学生取材ツアー(十日町市観光協会の引率) 10名
 - 8/30 東京農工大学教授、和歌山県色川地区の方 3名
 - 10/16 福島県庁 30名

情報発信・農山漁村応援事業

- 講演
 - 7/7 ネスパスにいがた暮らしセミナー(小佐田)@東京
 - 8/25 山口県「生涯学習活動地域コーディネーター養成講座」(山本)
 - 9/2 対馬市島おこし実践塾(多田)
 - 10/7 めっかめっか(山本)
- 寄稿
 - 舞たうん112号(4月発行)(多田)
 - 地域づくり9月号(多田)
- 直売所運営支援
 - 飛渡やまの直売所の運営について売上・1品1品の出荷/販売状況の管理
 - 生産者、店番への支払いに関わる事務
 - 店番のシフト調整
 - 店番
- 東北応援企画
 - 石巻の海苔の販売を開始

その他

- 登記関連
 - 4月中旬 登記完了(設立日は4/4)
 - 社会保険、労働保険、雇用保険加入完了
 - 法人設立届 提出完了
- 分校事務所整備
 - 4/24 フレッツ光移設
 - 5/29 サーバー納入
- 6/26 子牛(めい)出荷
 - せり価格:275,000円。
 - 販売合計:290,750円。
 - 控除差引支払い額:273,941円。
 - 農協の補償金は5,000円。
- 定款変更
 - NPO法改正に準じる活動の種類追加と、農産物販売をその他の活動から特定非営利の活動に変更。
 - また、学生会員を賛助会員に準じる形に変更。

その他

- パンフレット完成、会員制度運用開始
 - 実行委員会パンフレットが完成したことを機に、本格的に会員制度の運用を開始した。
- あしたのまち・くらしづくり活動賞何らかの賞を受賞する事が決まる。
 - 11/13以降何賞を受賞したのかを外部に情報を出しても良くなる

メディア報道・掲載

- 4/14 新潟日報夕刊掲載
- 4/27 テレビ新潟ニュース放映
- 5/12 日本農業新聞掲載
- 5/25 FMとおかまち「地域おこしに協力したい」
- 5/25 十日町市報掲載
- 5/27 BSN「農ガールかなやん奮闘記」放送
- 5/29 「地上」取材
- 6/1 FMとおかまち「地域おこしに協力したい」
- 6/15 教育テレビ「東北発☆未来塾」放送
- 6/15 十日町新聞社
- 6/23 新潟日報
- 8/18 十日町タイムス
- 8/27 商経アドバイス
- 9/7 FMとおかまち「地域おこしに協力したい」
- NOSAIのネットワークにいがた10月号
- 10/3 テレビ新潟ニュース放映
- 10/5 FMとおかまち「妻有の魅力再発見」
- 10/12 FMとおかまち「妻有の魅力再発見」

中間会計報告の承認

- 「貸借対照表」、「財産目録」、「活動計算書」を参照

事業計画の承認

- 「平成25年度特定非営利活動法人十日町市地域おこし実行委員会事業計画書」、「全体組織図」を参照

予算案の承認

- 「平成25年度十日町市地域おこし実行委員会会計収支予算書」を参照

会員制度の仕組み

- 正会員（会費5,000円／年）
 - 総会での議決権を有する
 - 事業報告書、NPO法人化記念誌、会報誌の送付
- 賛助会員（会費3,000円／一口）
 - 総会において、参考意見を述べる事が出来る
 - 事業報告書、NPO法人化記念誌、会報誌の送付
- 学生会員（会費2,000円／一口）
 - 総会において、参考意見を述べる事が出来る
 - 事業報告書、NPO法人化記念誌、会報誌の送付
- 法人会員（会費10,000円／一口）
 - 総会において、参考意見を述べる事が出来る（組織代表者1名のみ）
 - 事業報告書、NPO法人化記念誌、会報誌の送付

※全ての会員は池谷分校やまのまなびやをイベント以外で利用する事が可能。会員本人が同伴する場合は非会員の友人を誘って一緒に使う事も可能。